

# 山梨の土地改良

VOL. 170 2018.4



第11回やまなし農村風景写真コンクール季節賞（春）上野俊人様「桃花歎乱草青燃」撮影場所：甲州市

## CONTENTS

- ごあいさつ 会長・保坂 武——1  
平成30年度を迎えて 山梨県農政部長 三井孝夫——2  
第60回通常総会及び第59回功労者表彰式——3

- 全国土地改良事業団体連合会第60回通常総会——5  
全国水土里ネット表彰式——5  
平成30年度山梨県農政部人事——6

# ごあいさつ

山梨県土地改良事業団体連合会

会長 保坂 武



皆様方には、平素より本会の業務運営並びに本県の農業農村整備事業の推進につきまして、格別のご支援とご尽力を賜りお礼申し上げます。

本年度は昭和33年設立から60周年を迎える記念の年になります。新しい専務理事を迎える会長以下役員、事務局で会の運営を行って参る所存です。つきましては会員の皆様をはじめ、関係各位のご支援・ご協力をどうぞ宜しくお願いします。

さて、農業・農村は、安全で安心な食料を供給する場であるとともに、国土の保全、豊かな自然環境、安らぎのある農村環境の形成などの多面的機能を有しております。国民生活に大変重要な役割を果たしております。

国においては、「新たな土地改良長期計画」に基づき、農業の競争力強化や国土強靭化等の施策を推進しており、昨年の通常国会で改正土地改良法が成立し、担い手への農地の集積・集約の加速化に向け、農地中間管理機構と連携した新たな基盤整備事業の創設、防災・減災対策の強化や事業実施手続きの簡素化などの制度などを整えております。

山梨県においても、「地域の魅力の原動力『やまなし農業』」を目指して、「新・やまなし農業大綱」を策定し、高品質化・販路開拓による儲かる農業の展開、活気に満ちあふれた農山村を創造するための諸施策を展開しています。

しかしながら、農業農村を取り巻く状況は、高齢化、担い手の減少、耕作放棄地の増大や鳥獣被害の

増加、農産物価格の低迷等に対する不安及び施設の老朽化など、厳しい状況が続いている、農家の意欲減退が懸念されるところです。

このような時こそ、農業農村の将来像をそれぞれの地域で描き、解決策をひとつひとつ丁寧かつ確実に実践していくことが重要であり、このことが地域の活力の向上、強いては地方創生に繋がるものだと確信します。

本会といましても、国、県、市町村をはじめとする関係機関との連携を図り、会員の皆様方のニーズに応えられるよう農業農村の更なる振興と発展に努めて参りますので、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



天地の快晴（甲斐市）

# 平成30年度を迎えて

山梨県農政部

部長 三井 孝夫



甲府盆地の農村を鮮やかに彩っていた桃やスモモの花の季節も過ぎ、周囲の山々の新緑が陽光に映え、日に日にその眩しさを増してきております。

山梨県土地改良事業団体連合会の皆様方には、日頃から県政推進にあたって深い御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

県では、すべての県民の皆様が明るく希望に満ち安心して暮らせる「輝き あんしん プラチナ社会」の実現に向け、皆様方をはじめ、多くの方々の御理解と御協力をいただき中で、「ダイナミックやまなし総合計画」に基づいた様々な施策・事業を進めて参りました。

今年度は、県民の皆様に施策の実効性について「実感」していただくことを念頭に置きながら、これまでの取り組みを更に加速していくこととしております。

農政部といたしましても、農業の部門計画である「新・やまなし農業大綱」に基づき、「地域の魅力の原動力『やまなし農業』」を目指し、「高品質化・販路開拓による儲かる農業の展開」と「活気に満ちあふれた農山村の創造」の、2つの大きな目標の実現に向け、各種事業を推進し、本県農業・農村の振興を積極的に図っていくこととしており、県産農産物の販路拡大や、本県の強みを生かした産地づくりの推進、また、担い手の確保や農地集積の促進などの取り組みを積極的に推進することとしております。

これらの取り組みを進めるための礎となる農業農村整備事業につきましては、昨年度の国の補正予算と併せ本年度当初予算もしっかりと確保することができましたので、地域のニーズに即した農地・農業用水など、農業の競争力を高めるための生産基盤整備や、農村地域の安全・安心を図る防災・減災対策を進めるための施設整備などを着実に実施して参ります。

農業農村整備事業においては、新たな変化の時期を迎えております。

昨年9月には「土地改良法等の一部を改正する法律」が施行され、農地中間管理機構と連携した新たな基盤整備事業の創設や事業実施手続きの簡素化等が盛り込まれたところであり、担い手への農地の集積・集約化等の加速化に向け、時代の要請に対応した施策の構築と展開が必要となってきています。

農業・農村を取り巻く環境は引き続き厳しい状況ではありますが、「やまなし農業」を元気にし、農業を成長産業に導くため、積極果敢にチャレンジして参りますので、今後とも県政推進へ御理解、御協力を賜りますようあらためてお願い申し上げます。

結びに、山梨県土地改良事業団体連合会の益々の御発展と、会員の皆様の一層の御健勝、御活躍を祈念し、新年度の御挨拶とさせていただきます。



保坂会長 挨拶

## 第60回通常総会

第60回通常総会並びに第59回土地改良功労者表彰式を3月28日（水）午後2時より山梨県自治会館講堂において行いました。

保坂武会長の挨拶の後、多年にわたり土地改良事業の業務成績が優秀な団体、土地改良事業にご尽力していただいた村役場職員、土地改良区職員へ表彰状及び記念品が贈呈されました。また、土地改良事業の推進に永年ご尽力を頂いた県職員、永年勤続され本年度退職する本会職員に感謝状を贈呈致しました。

表彰式終了後、来賓祝辞として後藤斎山梨県知事、久保田松幸山梨県議会副議長、米田博次関東農政局次長、また中谷真一衆議院議員より頂きました。併せて二階俊博全国土地改良事業団体連合会会长、全国土地改良事業団体連合会会长会議顧問進藤

金日子参議院議員及び県選出国会議員の皆様からの祝電を披露しました。

表彰式終了後、大塙堰土地改良区猪股理事長を議長に選任、龍岡土地改良区斎藤理事長、四ヶ村堰土地改良区小澤理事長を議事録署名人に、本会職員2名を書記に任命し議事に入りました。

第1号議案から第10号議案まで承認され、第11号議案で欠員による理事2名の役員補欠選任を議題とし、規約第16条により詮衡委員会を開催し理事1名、専務理事1名が推薦され満場一致で承認されました。

平成30年度より理事に高木晴雄笛吹川沿岸土地改良区理事長（山梨市長）、専務理事に渡邊祥司学識経験者が就任されました。



後藤知事 祝辞



久保田副議長 祝辞

## 提出議案

- 第1号議案 平成28年度事業報告・収入支出決算  
並びに財産目録の承認について  
第2号議案 平成29年度事業中間報告について  
第3号議案 平成29年度収入支出補正予算について  
第4号議案 平成30年度事業計画について  
第5号議案 会費の賦課徴収方法並びに受託料算定  
基準について

- 第6号議案 平成30年度役員報酬について  
第7号議案 平成30年度収入支出予算について  
第8号議案 一時借入金の限度額並びに借入方法について  
第9号議案 積立金の預入先について  
第10号議案 規約の一部改正について  
第11号議案 役員の補欠選任について

## 新役員のご紹介

第60回通常総会において、役員2名の欠員に伴う  
補欠選任が行われ、理事に笛吹川沿岸土地改良区  
理事長（山梨市長）高木晴雄氏、専務理事に渡邊  
祥司学識経験者が選任されました。

平成30年4月1日（任期1年）



笛吹川沿岸土地改良区理事長

高木 晴雄（新任）

学識経験者

渡邊 祥司（新任）

## 第59回土地改良功労者表彰並びに感謝状贈呈

### ■団体の部

大武川地区換地委員会

### ■個人の部（順序不同）

佐藤万寿人 道志村役場 産業振興課長  
藤原 一浩 笛吹川沿岸土地改良区 管理課長  
相川まゆ美 南アルプス土地改良区 主査

### ■感謝状贈呈者（山梨県農政部関係）

渡邊 祥司 山梨県農政部 技監  
荻原 修 中北農務事務所 所長  
山根 正人 富士・東部農務事務所 所長  
寺島 伸司 峡南農務事務所 次長  
平賀 哲夫 出納局工事検査課 工事検査監  
小澤 正男 峡東農務事務所 工事施工管理幹

### ■感謝状贈呈者（土地連関係）

保坂 衛 事務局長  
竹川 史人 事業部長  
清水 祥子 契約事務幹  
内藤 裕己 事業部事業課 主任



大武川地区換地委員会 表彰



道志村役場 佐藤課長 表彰

# 全国土地改良事業団体連合会第60回通常総会

全国土地改良事業団体連合会第60回通常総会が去る3月26日東京都平河町都市センターホテルにおいて、各都道府県の水土里ネット会員出席のもと開催されました。

高貝久遠全土連副会長が冒頭の挨拶の中で、NN事業関連予算が補正と合わせて5800億円と大幅削減前を上回る予算を確保できたのは、関係各位のご尽力の賜であると要請活動等に対する感謝の意を述べると併に、今後も引き続き予算増額を目指し、関係者が更に団結するよう訴えました。

議長に静岡県土連伊東真英会長を選出し、平成28年度収入支出決算、平成29年度収入支出補正予算、平成30年度事業計画及び収入支出予算等、全13議案が諮られました。第12号議案では理事の補

欠選任が行われ、平成30年度より理事に岡山県土連石井正弘会長、山口県土連北村経夫会長また、監事には埼玉県土連三ツ林裕巳会長、徳島県土連川真田哲也会長が就任することになりました。議事終了後、決議文が全会一致で承認されました。



高貝副会長 挨拶

## 全国水土里ネット表彰式

通常総会終了後、東京都シェーンバッハ・サボーにおいて「第59回全国土地改良功労者等表彰」「農業農村整備優良地区コンクール表彰」「21世紀土地改良区創造運動表彰」が行われ、本県からも2名が受賞されました。

表彰式には農林水産省から、斎藤農林水産大臣、荒川農村振興局長、室本同局次長ら幹部また、全国土地改良事業団体連合会会長会議顧問進藤金日子参議院議員、全国土地改良事業団体連合会会長会議顧問宮崎雅夫氏が出席されました。

全国水土里ネット二階会長は挨拶の中で表彰者の功労、栄誉を称え、今後とも土地改良事業の推進と地域の振興にご尽力賜りたいと賛辞を述べられました。斎藤農水大臣及び都道府県土地連会長会議進藤顧問より来賓挨拶を頂きました。進藤顧問は農業農村整備事業の効果をしっかりと算定し、予算確保に尽力すると訴えました。



二階会長 挨拶

山梨県関係の団体、個人の受賞者

### 第59回全国土地改良功労者等表彰

#### ■団体の部

農業農村整備優良地区コンクール 中山間地域等振興部門  
全国水土里ネット会長表彰

敷島地区(農事組合法人ゆうのう敷島)

#### ■個人の部

釜無川右岸土地改良区連合 事務局長 原 昌仁  
山梨県土地改良事業団体連合会 契約事務幹 清水祥子



表彰者 原事務局長、清水契約事務幹

## ■平成30年度人事

### 山梨県農政部人事

平成30年4月1日付、県職員人事異動が発令されました。  
農政部及び、各農務事務所の幹部職員は次のとおりです。

#### 農政部

部長	三井 孝夫
理事	土屋 重文
次長	坂内 啓二
技監	依田 健人
技監	清水 一也
副参事	福嶋 一郎
企画調整主幹	斎藤 修
部付主幹	斎藤 茂
部付主幹	渡辺 茂
部付主幹	茂手木 知
部付主幹	渡邊 聰尚
部付主幹(農業振興公社)	馬場 信吾

#### 農政総務課

課長	上野 瞳
総括課長補佐	入倉 俊郎
農政企画監	勝俣 匠章
指導検査監	岩下 功子
課長補佐	新津 利恭
課長補佐	高橋 一春
課長補佐	熊王 広之
課長補佐	齋藤 弘道

#### 農村振興課

課長	上野 公紀
課長補佐	依田 君子
課長補佐	丸山 誠
課長補佐	横小路 稔
課長補佐	高瀬 建
課長補佐	保坂 淳

#### 耕地課

課長	山田 英樹
総括課長補佐	望月 英二
技術指導監	浅川 一輝
課長補佐	原田 武
課長補佐	流石 富夫
課長補佐	山本 裕之

#### 中北農務事務所

所長	八巻 武正
次長(事)	中村 秀樹
次長(技)	塙崎 欽哉

扱い手対策幹  
農村整備振興幹  
工事施工管理幹

鈴木 幾雄  
古屋 泉  
山本 林仁

#### 峡東農務事務所

所長	武井 和人
次長(事)	野沢 芳人
次長(技)	岩間 浩
扱い手対策幹	須田 寿一
農村整備振興幹	保延 宏治
工事施工管理幹	土橋 忠幸

#### 峡南農務事務所

所長	原 昌司
次長(事)	塙原 知章
次長(農村整備振興幹事務取扱)	望月 修
扱い手対策幹	齊藤 典義
工事施工管理幹	向山 直樹

#### 富士・東部農務事務所

所長	塙入 栄
次長(事)	志村 一明
次長(技)	向山 一弘
農村整備振興幹	藤巻 慎司
工事施工管理幹	古屋 勝

### 退職者

平成29年度をもちまして退職された方々です。

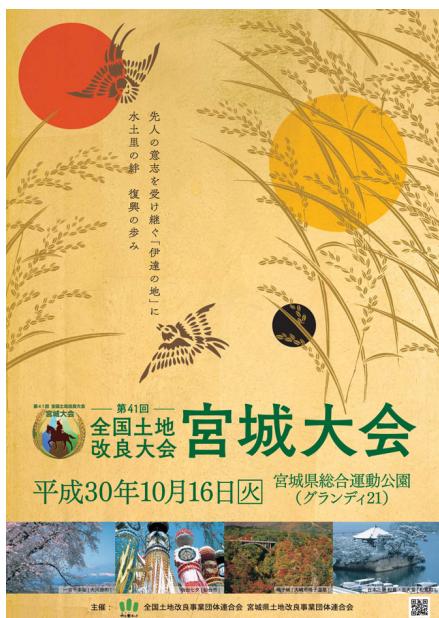
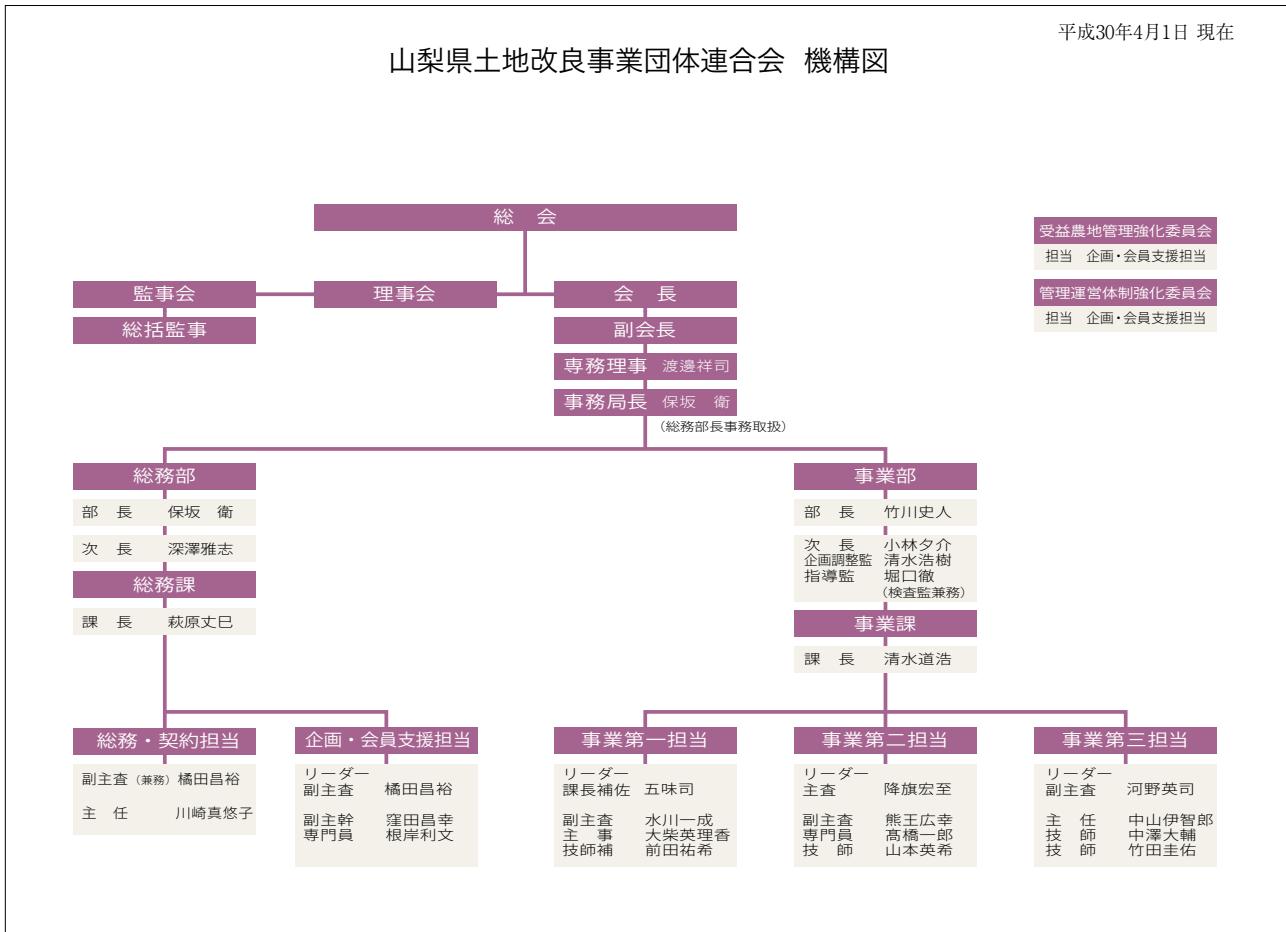
#### 《農政部関係》

農政部	技監	渡邊 祥司
中北農務事務所	所長	荻原 修
富士・東部農務事務所	所長	山根 正人
峡南農務事務所	次長	寺島 伸司
出納局工事検査課	工事検査監	平賀 哲夫
峠東農務事務所	工事施工管理幹	小澤 正男

#### 《本会関係》

事務局長	保坂 衛
事業部長	竹川 史人
契約事務幹	清水 祥子
事業課主任	内藤 裕己

## 山梨県土地改良事業団体連合会 機構図



## 行事予定表

- 6/22 換地計画実務研修会  
自治会館研修室
- 7/10 第1回土地改良区等  
役職員研修会  
自治会館研修室
- 10/16 第41回全国土地改良  
大会宮城大会  
宮城県宮城郡利府町

農業農村  
整備事業は

- 調査設計・測量
- 換地確定測量
- 農業集落排水事業
- 水土里情報システム

山梨県土地改良事業団体連合会へ



発行者：山梨県土地改良事業団体連合会  
〒400-8587 山梨県甲府市蓬沢1丁目15番35号 自治会館5階  
TEL 055-235-3653 FAX 055-228-8174  
URL : <http://www.yamanashi-doren.or.jp>  
E-mail : [syomu@yamanashi-doren.or.jp](mailto:syomu@yamanashi-doren.or.jp)

